

育て 未来の担い手

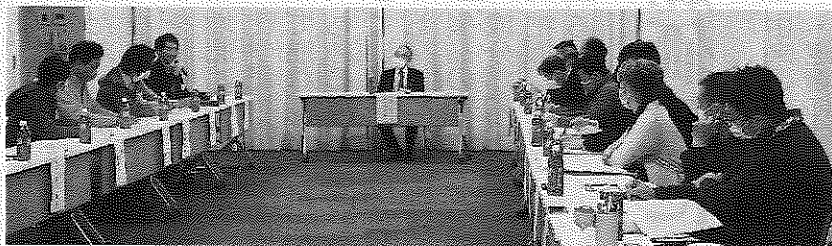
新規就農者らと 初の意見交換会

【長生】長生農業独立支援センター協議会は3月中旬に長生村交流センターで、同協議会役員と新規就農者、研修生との意見交換会を初めて開いた。関係者やJA役職員ら約30人が出席した。

意見交換会は、意欲ある多様な人材を呼び込むことで、長生地域に新規就農者数を増やし定着させていくことが目的。

新規就農者や研修生から出してもらった意見や要望に、関係者らが回答する形で行った。

参加者からは「新規



要望を伝える新規就農者

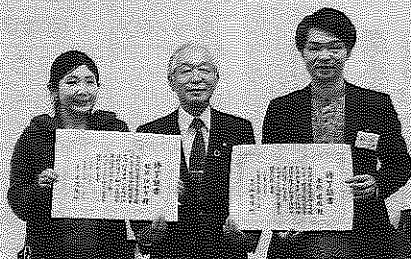
就農者への定期的な圃場（ほじょう）巡回、困ったときの相談、先輩農家への視察案内など、継続的な支援が大変助かっている」「研修期間中に、農家研修だけでなく自分で作れる畑を借り、作物作りにトライしたい」などの要望が出た。

長生農業独立支援 センター協議会

同協議会長を務める同村の小高陽一村長は「新規就農者や研修生のありのままの声を聞ける良い機会だった。問題点が出てきたら支援センターへ相談してほしい」と話した。

イチゴとネギで 研修生が巣立ち

【長生】長生農業独立支援センター協議会は3月中旬、長生村交流センターで新規就農者育成対策事業実践研修の修了証書授与式を



修了証書を受け取り、
笑顔を見せる研修生

行った。同協議会の会長を務める長生村の小高陽一村長が研修生の都築ゆかりさんと末統広樹さんへ修了証書を授与した。関係町村、JAの関係者らが出席した。

同研修は、長生地域に就農意欲のある人材を広く集め、実践的な農業研修を行い、時代の変化に対応できる農業経営者を育成することが目的。

トマト、ネギ、梨、

イチゴなど地域の主力重点品目で研修。実践研修費は無料で、1、2年の研修中は月2万円の助成金が支給される。

研修を修了した2人は、一昨年から地域の熟練した生産者の下で長期にわたり、イチゴとネギの栽培方法を学んできた。

研修に参加した末統さんは「農業は大きなビジネスチャンスを作ることができると思ったので、新規就農を希望したい。就農後はネギを作り、JA出荷を希望する。一生懸命、地域に貢献しながらスキルを磨いて行きたい」と話した。

都築さんは同村でイチゴを、末統さんは一宮町でネギ農家としてそれぞれ本格的に就農している。